

伊藤 羊子 さん

Yoko Ito

長野県文化振興事業団 学芸員

1968年1月生まれ。静岡県浜松市立高卒。94年、大学院美術史学専攻修士課程修了。現在、信州ミュージアム・ネットワーク事業推進室担当係長。夫と小4の長男、夫の両親と長野市に在住



信州の美術館・博物館を結び 子育て支援や観光振興に：

高校までは硬式テニスに打ち込み、全国大会にも出場しましたが、書画が飾られた古い家で育ったこともあり、美術に漠然とした関心がありました。そこで、大学では美術史を学ぼうと、実践女子大学文学部美学美術史学科に入りました。

入学後、19世紀末から20世紀前半の西洋美術と、それに強い影響を与えた日本美術に興味を持ち、修士論文では指導教官の仲町啓子先生のもとで伊藤若冲の拓版画を取り上げました。1980年代後半から90年代は、全国各地に美術館や博物館ができた時代です。展覧会看視員などのアルバイトをし、お金を貯

めてヨーロッパの美術館を巡り、これが美術館学芸員を目指すきっかけになりました。

各地の公立美術館の採用試験を受け、修士課程修了後、一般財団法人「長野県文化振興事業団」に就職。県立長野県信濃美術館 東山魁夷館の学芸係長を経て、現在は県内の美術館や博物館などが連携し、県内外の方に信州の自然や歴史、文化、アートに親しんでもらおうという仕事に取り組んでいます。

長野にはミュージアムが400超あり、この数は東京都を抜いて全国一です。これらの施設をネットワーク化し、子育て支援や観光振興などにつなげたい、と思っています。



長野県中川村にある日本唯一のフランス発祥の抽象絵画美術館「アンフォルメル中川村美術館」の小川妙子代表(右)と。同館は3月中旬～11月の火、木、土、日・祝開館



男女共同参画推進担当理事
人間社会学部長

広井多鶴子教授

美学美術史学科は、女子大学では数少ない美学や美術史に関する専門学科として1985年4月に開設されました。また、本学には創立者、下田歌子の意志を受け継ぎ、主に女性画家の作品を収集・研究する香雪記念資料館が設置されています(館長は仲町先生)。伊藤さんをはじめ、本学で美学や美術史について学んだ女性たちが今、全国各地で美術に親しむためのさまざまな活動を繰り広げていると思うと心強い限りです。